

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

様式 2
(2023年度)

事業実績報告書

講座番号	B-26	講座名	こども講座「森であそぼ！」
記載日	2023/8/5	団体名・企業名	NPO法人海上の森の会

〈講座全体の概要〉(300字程度)

海上の森は都市近郊にありながら豊かな自然に恵まれ、多様な生き物を育む森です。四つの季節のあり様を観察しながら森をゆっくり歩き、人間以外の生き物の生き方を感じ、知ることによって生命を大切に思う心を育み、自分と自然のつながりを考えるきっかけをつくる。



※写真1の説明



※写真2の説明

5月14日「春をみつけ！」森のたから探しを行った。雨の日の生き物たちの様子を観察した。

7月30日、「虫、むしどーこだ」ゆっくりと森を歩き、昆虫を探し観察した。

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

5月は当日は雨。「森のたから探し」では雨に濡れキラキラと光る蜘蛛の糸や雫に足を止め雨の日ならではの宝ものが見つかった。チョウやトンボは飛んでいなかったの、こんな日に昆虫はどう過ごしているのか葉の裏をめくったり、倒木をどけてみたり一生懸命に探した。ガガンボの動きをみんなで見てみると、「バグってる！」と子どもたちがいう。「バグってるガガンボ」子どもの表現はいつも楽しい。7月。森の中は思ったより涼しかった。暑さ対策に気を付けて準備して行った。生き物を見つける度にどんどん子どもたちの声が大きくなり、活発に動き元気になっていった。昆虫好きの仲間意識が見られ、アドバイスしたり、協力したり交流が深まっていった。終わりに、また、ぜったい来る！という声うれしかった。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

おとなと子どもが分かれる時間があり、おとなは自然観察をした。その感想では虫とりに行っても子どもの質問に答えられない事が多いのでおとなが勉強になりながら色々詳しく知れて楽しかった。子どもたちがキラキラした目で虫を追いかけていてうれしかった。子どもの感想では、自然がたくさんあって、よく見てみると虫がたくさんいることがわかった。オトシブミがみれてよかった。一か月後、またきたい！

様式 2
(2023年度)